

「第三者評価に参加して～事業者からのコメント～」

にじいろのはな保育園

にじいろのはな保育園が開園し、3年目の年に第三者評価に参加させて頂けたことは、日々の保育内容や運営方法など、丁寧に見直しをしていく良い機会となりました。また、今後の保育園運営にとって、とても良い経験になりました。

当園は「子どもにも保護者にも職員にも寄り添う園、子どもも保護者も職員も育つ園」を理念とし、2018年に開園しました。地域の皆様に支えられながら、小規模保育園の特徴を生かし、家庭的な雰囲気の中で「一人一人に寄り添った保育」を行っています。週2回のミーティングなど職員間のコミュニケーションを密に取り、子どもたちに寄り添うとは何かを深く考えながら、子ども第一に考えた保育を行っています。これら当園の取組を高く評価して頂いたことは、職員の大きな自信や励みになりました。

また、安全対策として、運営母体の(株)ハピクロが開発した午睡見守りセンサーを導入し、保育士による見守りとのダブルチェックにより、SIDS防止に努めています。安全マニュアルの整備だけではなく、保育場面での危険予知訓練を職場研修として実施し、職員の意識レベルの向上に努めています。大事な子どもの命を預かる施設として、このような安全対策に力を入れていることも高く評価して頂き、保育サービスに対しても大きな自信をもつことができました。

今回の評価に際し、取組を整理・見直すことで、取組の意図がしっかりと言語化できました。職員個々が理解を深めるとともに、認識共有を図ることができました。保育計画等の作成については、職員とともに見直しを行い、保育内容の更なる充実に向けた取組を進めてまいります。

今後、職員の質の向上に対する取組を強化し、さらなる保育の向上に努めていきます。そして、保育現場の新たな発想の転換や創意工夫を重ねながら、地域に根差した保育園としての役割を果たし、地域の子育て支援を継続していきたいと思っております。

最後に、評価委員の方々には短い時間にもかかわらず、私達の様々な思いを汲み取っていただき、暖かな目線で評価をしていただきましたことを、心からお礼申し上げます。ありがとうございました。